

施政方針 の概要 予算

平成28年度



平成28年度

施政方針

はじめに

本日ここに平成28年度当初予算案をはじめ諸議案のご審議をお願いする市議会の開会に当たり、私の市政運営に関する所信の一端をご説明申し上げ、議員ならびに市民の皆さまのご理解を賜りたいと存じます。

さて、私は、平成23年の市長選挙におきまして、市民の皆さまからの負託を受け、第3代周南市長に就任し、「ふるさと周南」を絶対にするという強い決意のもと、事業の見直しや自助・共助・公助の仕組みづくり、行財政改革に取り組んでまいりました。

めるまちづくりをテーマとして2期目の市政運営をスタートしたところであります。

また、昨年6月の所信表明で申し上げました「動き出したまちづくりの歩みを決して後戻りさせることなく、次のステップへ進めていかなければならない」との想いをしっかりと胸に刻んで、現在、まちづくりに邁進してまいります。

これまで取り組んできたまちづくりを、今の市民、将来の市民のために、皆さまと共に、「しっかりと前進」させていこう。

このことが市長としての、私の責務であります。

そして、昨年の市長選挙におきまして、1期目の取り組みを更に進化させることを公約に掲げ、再度、市民の皆さまの負託を受けたところであり、これにより、私が進めてきたまちづくりが正しかったことを強く確信する中で、市民の皆さまと共に進

本年1月、人口減少抑制に向けて取り組んでいくための「周南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、議会をはじめ、各界の有識者、市民の皆さまからのご意見をいただき、本市の知を結集して策定いたしました。この総合戦略は、本市の最上位計



画である「第2次周南市まちづくり総合計画」で掲げた人口減少の抑制に向けたまちづくりと方向性を同じくするものであります。無限の市民力、そして全国に誇る本市の地域資源を最大限生かし、「じごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「じごと」を呼び込む好循環を確立することにより、人口流出の抑制、移住、定住促進につながる取り組みを加速化させてまいります。

「共に」。未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。
誰もが自分らしく活躍でき、このまちに住んで良かったと誇ることのできる「ふるさと周南」のために、市民と共に、地域と共に、全力でまちづくりを『前進』させていく所存でありますので、皆さまの一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年度当初予算案と主な取り組み

それでは、平成28年度当初予算案とその主な取り組みについてご説明いたします。

平成28年度当初予算案は、
一般会計 63.1億4400万円
特別会計 3.65億1373万円
企業会計 4.91億5886万7千円
を計上しております。

私がこれから進めていくまちづくりは、市民の皆さまと共に進めてこそ、大きな成果を得ることができ
皆さん、共に周南市のまちづくりのアクセルを踏み、次のステップへと『前進』させていくのではありませんか。

一般会計では、庁舎や動物園をはじめとする主要建設事業や保育給付、中小企業金融対策などが大幅な増となったものの、平成27年度で小中学校耐震化工事が完了したことにより前年度と比較して1.4パーセント減となっております。

子育て世代包括支援センター事業



予算額 1,289万円

子育て世代包括支援センターを設置し、全ての妊産婦や乳幼児とその家庭への切れ目のない支援をします。

主な内容

○妊娠・出産・子育てのワンストップ窓口の設置

財源内訳

国・県の負担額 841万円
市の負担額 448万円

問合せ

健康づくり推進課
☎0834-22-8553

『前進』させてまいります。

重点施策

それでは、重点施策について、第2次まちづくり総合計画・前期基本計画の7つの主要プロジェクトに基づき、ご説明いたします。

社会で育む少子化対策プロジェクト

「共に」。未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。
1つ目は「社会で育む少子化対策プロジェクト」でございます。

現在、日本の社会が直面している人口減少問題への対応は、将来に先送りすることが許されません。

「子育てするなら周南市」

私は、市長選挙で掲げた公約を実行に移し、少子化対策への取り組みを

結婚、妊娠・出産・子育てに関する切れ目のない支援体制の充実を図るため、こども健康部を設置するとともに、妊娠・出産・子育てに関するワンストップ相談窓口「子育て世代包括支援センター」を開設し、きめ細かな支援体制と、地域全体で子育てを支える体制を構築することにより、周南市版ネウボラをめざしてまいります。

また、子育て環境の整備も『前進』させてまいります。

まず、子どもの医療費助成についてでございます。現在の就学前児童までを対象としている制度を、小学校6年生まで拡充し、児童の健全な成長と、子育て世帯の経済的負担の軽減につなげてまいります。

防災情報収集伝達システム整備事業



予算額 6億9,896万円

災害時の情報提供や避難勧告の伝達、情報収集を行う防災情報収集伝達システムを整備します。

主な内容

○システム整備工事

財源内訳

国の負担額	2億4,780万円
市の負担額	4億5,116万円
(うち借入金)	4億1,660万円)

問合せ 防災危機管理課 ☎0834-22-8208

放課後などに児童が過ごす児童クラブにつきましては、小学校と連携した施設整備を引き続き進めると

次に、計画に基づいて進めている公立保育所の再編整備の取り組みを加速化させてまいります。
 新年度においては、平成29年度の第一保育園、飯島保育園、若山保育園の民営化に向け、民間事業者による保育所の施設整備について支援することにも、利用者がこれまでどおり安心して保育サービスを受けられるよう、事業者と合同による引き継ぎ保育を行ってまいります。
 また、新たに「認定こども園」や事業所内保育施設が、民間事業者により開設される見込みとなっており、引き続き、保育の拡充につながる取り組みに対する支援も積極的に進めてまいります。

び場や外出先の確保を図ります。
 また、子育て中の男性やその家族を対象としたセミナーの開催により、母親の育児負担や不安感の軽減

もに、県のご協力によりお借りすることができた総合庁舎など、公共施設の活用を図ってまいります。また、支援員の確保に取り組みとともに、多様化する保護者のニーズに対応するため、専門アドバイザーを新たに配置し、支援員および補助員の質の向上にも努めてまいります。
 昨年開催した「子育て応援ミーティング」では、保護者の皆さまからさまざまなご意見をいただき、その中で、新年度より取り組みを進めていくこととしたものがあります。
 まず、子育て支援センターのない地域での「出張ひろば」の拡充と子育て支援センターの休日開所により遊び場や外出先の確保を図ります。

を図り、家族や社会全体で子育てを支える気運を高めてまいります。
 その他、結婚に関する支援として、より多くの若者が結婚の希望をかなえ、希望する時期での出産・子育てを実現するため、若者の出会いの場の創出に対する支援や、高校生などの若年層を対象とした「出前講座を開催いたします。

揺るぎない安心安全プロジェクト

共に。未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。

2つ目は「揺るぎない安心安全プロジェクト」でございます。

自助・共助・公助が、それぞれの力を発揮することができる体制づくりに取り組み、誰もが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるまちづくりを更に「前進」させてまいります。

まず、自然災害に対する備えでございます。
 自助に関する取り組みといたしまして、住まいの安心・安全を確保するため、土砂災害特別警戒区域内の建築物を改修する際の費用の一部を助成してまいります。

また、共助といたしましては、自主防災組織の活動への助成制度の見直しを行うとともに、図上訓練などの研修を充実させていくなど、組織の育成・強化を進め、地域防災力の向上を図ってまいります。
 さらに、避難行動要支援者に対しましては、防災アドバイザーや自主防災組織と連携し、家具転倒防止器具の設置支援を行い、自助・共助と公助が一体となった地域防災力の強化を進めてまいります。

そして、公助といたしましては、災害が発生した際に、市民の皆さまの安心・安全を確保するため「提供型」「双方向型」と「全市ネットワーク型」による「防災情報収集伝達システム」を構築してまいります。
 また、高い耐震性を備え、いざというときでも、市内各地の災害に迅速かつ的確に対応し、行政サービスを継続できる新庁舎の建設を着実に進めてまいります。

頻繁に発生する集中豪雨への対策として、二級河川西光寺川と合流する隅田川の治水事業の早期完成をめざすとともに、徳山駅南口周辺や富田西部土地区画整理区域、福川南地区などにおいて浸水対策を講じてまいります。
 次に、暮らしの安心・安全の確保についてでございます。

次に、暮らしの安心・安全の確保についてでございます。

本年1月から「もやいネットセンター」に、子どもから高齢者までの相談をお受けする「福祉総合相談窓口」を設置し、相談機能を拡充いたしました。福祉に関するさまざまなご相談を、しっかりとお聴きし、必要なサービスの利用に速やかにつなげてまいります。

特に、高齢化への対応としては、地域住民の保健医療の向上および福祉の増進を包括的に支援するために、北部地区に地域包括支援センターを新設するとともに、地域の見守り拠点「もやいネット地区フリーステーション」への支援や、医療・介護関係者との連携強化に取り組み、安心・安全の確保を図ってまいります。

また、市民の皆さまの生命と財産を守る消防・救急体制の充実強化において、地域防災の核をなす消防団機庫を整備するとともに、消防車両や機械器具の更新整備をはじめ、救急救命士の育成や高度な技術の習得を計画的に進め、暮らしの安心・安全の確保に取り組んでまいります。

自立した地域づくりプロジェクト

「共に、」 未来へ贈りたい周南市(まち)づくり。

3つ目は「自立した地域づくりプロジェクト」でございます。

地域団体やNPO法人などさまざまな主体の地域活動への参加促進に取り組み、市民の皆さまと共に、地域の価値を創出する「まちづくりを『前進』させてまいります。

「まちづくりの主役は市民の皆さまです。

「市民力」が発揮される地域社会を実現するため、本年1月に「周南市地域づくり推進計画」を策定いたしました。この計画を踏まえ、本市独自の取り組みの1つとして「共創プロジェクト」を立ち上げ、地域団体やNPO法人などさまざまな主体が「対話」による連携を進め、相互の知恵やネットワークなどを活用し、「新しい公共」の創出に努めてまいります。

また、地域コミュニティ組織への支援も拡充いたします。

地域の魅力向上や住民主体による課題解決型の地域づくりに対応できるように「地域の夢プラン」の対象を市内全域に広げてまいります。職員は引き続き地域に入り、対話文化の一層の醸成に努め、地域と行政が共に支え合う地域づくりを実践してまいります。

さらに、市と公益財団法人らるるで振興財団が、それぞれ行っている地域

共創プロジェクト事業



予算額 **2,591万円**

市民主体で地域の価値を創出する「共創の地域づくり」に取り組みます。

主な内容

○共創プロジェクト事業補助金

財源内訳

市の負担額 **2,591万円**

問合せ

地域づくり推進課
☎0834-22-8412

づくりに関する情報発信を一元化するとともに、各地で取り組まれている活動などをきめ細かく発信するため、新たにホームページを作成いたします。

まちじゅう賑わいプロジェクト

「共に、」 未来へ贈りたい周南市(まち)づくり。

4つ目は「まちじゅう賑わいプロジェクト」でございます。

まちの魅力向上と魅力発信に取り組み、人の流れで賑わいを創出するまちづくりを「前進」させてまいります。

まちの賑わいの核となる「(仮称)新徳山駅ビル」につきましては、いよいよ建設に着手し、指定管理者の選定を経て、オープンに向けた準備に取り掛かるとともに、北口駅前広場か

ら南口駅前広場まで一体感のある整備を進めてまいります。

徳山駅南側への人の流れを促進するため、憩いと賑わいの場の創出に向けたフリーターミナルを含めた港湾地区の整備について、引き続き、県をはじめ商工会議所および港湾関係団体と連携し、調整を進め、徳山駅周辺の回遊性の向上を図ってまいります。

また、中心市街地におきましては、「(仮称)新徳山駅ビル」の建設をはじめとして、小規模複合施設整備事業や和光ビルリノベーション事業、銀南街リニューアル事業など、商店街の活性化に向けた取り組みが大きく動き出しております。

今後、拡充したテナントミックス推進事業の利用促進を図るなど、中心市街地の更なる活性化を推進し

徳山駅周辺整備事業



予算額 13億9,171万円

快適で利便性の高い徳山駅周辺整備を進め、都市の拠点づくりにより、中心市街地の活性化を図ります。

主な内容

- (仮称)新徳山駅ビル・付帯駐車場棟建設工事
- 南口駅前広場整備工事

財源内訳

国の負担額	6億4,736万円
市の負担額	7億4,435万円
うち借入金	5億6,120万円

問合せ

中心市街地整備課
☎0834-27-0070

てまいります。

さらに、中心市街地の拠点機能を向上させ、地域経済の活性化と雇用の促進を図るため、新たに事業所などを開設する新規創業者やフリータイプ産業の進出に対して支援を拡充するなど、引き続き、魅力あるまちづくりの推進に取り組んでまいります。

また、新たな取り組みといたしまして、株式会社トクヤマにおいて発電される安定・安価な電力の供給を受けることにより、中心市街地へ「ひとしごと」を呼び込む都市機能などを誘導するため、活用構想の策定に取り組むとともに、電力供給を受けるための実施設計にも着手し、他のまちでは絶対まねることができない「周南市ならでは」の取り組みを推進し、本市の魅力向上を図つ

てまいります。

急激な少子高齢化や人口減少社会の中で、まちの賑わいを創出し、持続可能で快適な生活環境や都市活動を確保することは、総合戦略にも掲げている重要な取り組みの一つでございます。そのため「立地適正化計画」の策定に引き続き取り組み、福祉・医療・商業などの都市機能や居住の効果的な配置や誘導を図るとも「地域公共交通網形成計画」に基づき、地域公共交通の再編のための具体的な事業を示す実施計画を策定し、コンパクト・プラス・ネットワークの集約型まちづくりを進めてまいります。

交流人口の拡大にも、しっかりと取り組んでまいります。

徳山動物園は、本市が誇る集客施設

設の一つであり、リニューアル施設の第一弾として「周南の里ふれあいゾーン」がオープンいたします。この施設で実施する、魅力あるプログラムを充実させるとともに、「自然学習館」および「野鳥観察所の施設整備に加え、ゾウの繁殖に備えるための新たなゾウ舎の実施設計および造成工事に着手いたします。

また、コンパクトシティ推進の取り組みにつきましては、引き続き関係機関と連携を図りながら、官民連携によるおもてなしやアフターコンベンションの充実に努めてまいります。

さらに、晴海親水公園や漢陽寺など本市ならではのユニークな要素を活用した会議やイベントの開催に向け、関係団体や旅行会社などと連携しながら、積極的に誘致活動に取り組んでまいります。

また、近年、海外から多くの観光客が日本に訪れており、その多くが、地方観光への関心が高いことから、本市におきましても、インバウンドの受け入れの取り組みを進め、特に、親日家が多く、児玉源太郎の縁で歴史的なつながりのある台湾を中心とした国際観光を行ってまいります。

次に、本市の魅力や取り組みを戦略的に市内外へしっかりアピールす

ることにより、市の認知度を高め、移住・定住の促進と、交流人口の拡大や企業の立地促進などによる地域の活性化につなげてまいります。

そのため、新たに広報戦略課を設置し、市民力を生かしたシティプロモーション事業を推進していくための基本方針を策定いたします。

産業活力・富の創造プロジェクト

共に、未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。

5つ目は「産業活力・富の創造プロジェクト」でございます。

地域特性を生かした産業力の強化に取り組む「周南市ならではのまちづくり」を『前進』させてまいります。

全国でも有数の水素生産都市である本市は、昨年を水素元年として位置付け、さまざまな実証実験を行うなど、水素の利活用促進に対する取り組みを行ってまいりました。

新年度は、こうした取り組みに加え、日本初となる「燃料電池ゴミ収集車」の実証運行や、小中学校での水素講座を開催するなど新たな事業を行い、低炭素社会の実現と水素を生かした新産業・新事業の創出に向けた取り組みを進めてまいります。

国際バルク戦略港湾である徳山下松港は、年間約1000万トンの石炭を取り扱う、我が国最大級の石炭輸入港であります。また、この港を中心に形成される周南コンビナートは、国内の基礎素材型産業の中心的役割を担っており、本市の経済をけん引する貴重な地域資源であります。

こうしたことから、国際バルク戦略港湾事業の推進や港湾計画に位置付けられた徳山地区マイナスイオン化、新南陽地区マイナスイオン化、新南陽地区マイナスイオン化へ向け、国や県に対し、重点的な整備促進が図られるよう、引き続き強く要望してまいります。

また、地方創生の取り組みとして、製造業をはじめとした事業所が多く立地する本市の地域特性を生かし、本社機能移転・拡充に伴う本市独自の支援策を実施し、雇用の増加と経済の好循環を図ってまいります。

地域経済を支える中小事業者への支援もしつかり取り組んでまいります。

本市が行う中小企業振興融資制度は、昨年4月に全面改正し、それ以降、多くの中小事業者にご利用いただいております。今後も、経済状況に応じた制度となるよう検討し、中小事業者の経営の安定や積極的な設備投資などへつなげる支援を行ってまいります。

また、本市での起業・創業を促進するため、商工会議所や金融機関などと共に関設立した「周南市創業支援協議会」の取り組みを支援し、新たな雇用の創出につなげてまいります。

第1次産業の振興施策もしつかり前に進めてまいります。

農山漁村の豊かな地域資源を活用して新たな付加価値を生み出す「6次産業化」の取り組みを支援するとともに、市内産の優れた農林水産物などを「しゅうなんブランド」として認定し、道の駅「ソレーネ周南」や広域連携のイベントなどで広く情報を発信してまいります。

また、競争力強化に向けた環境整備として、担い手への農地集積の加速化や農作業の効率化を推進するため、ほ場整備に取り組むとともに、漁業者の所得向上を図るため、トラフグ、キジハタなどの稚魚の放流を引き続き行なってまいります。

農地や山林は、水源のかん養、自然環境の保全、良好な景観の形成などの多面的機能を有しております。

このことから、この多面的機能の維持・向上を図るため、集落ぐるみの活動に対して支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進することにも「やまぐち森林づくり県民税」を

地域連携・低炭素水素技術実証事業



予算額 **1億4,281万円**

環境省からの受託事業として、さまざまな水素関連機器を活用した実証事業を行います。

主な内容

- 純水素燃料電池を活用した実証事業
- ボイラオフガス回収機器を活用した実証事業

財源内訳

委託金 **1億4,281万円**

問合せ

商工振興課
☎0834-22-8223

中山間地域振興プロジェクト

活用した、太華山の「つづみの森」や永源山公園展望台周辺などの景観保全に取り組んでまいります。

「共に。」 未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。

6つ目は「中山間地域振興プロジェクト」でございます。

人・自然・経済が循環する活力あふれる中山間地域を実現するまちづくりを「前進」させてまいります。

地域の資源を生かした経済の循環や雇用の創出、交流や移住の促進に向けて、県外からのサテライトオフィスの誘致をはじめ、移住を伴う起業を支援することも、農業を主体とした移住・定住を促進するため、山

「県立農業大学校と連携した「技術研修」や農地中間管理機構を通じた「農地の確保」と合わせて、「ビルハウスなどの「施設整備」や「住居の確保」をパッケージで支援いたします。

また、移住者の受け入れに不可欠な住居を確保するため、空き家所有者に対する活用の呼び掛けや「里の案内人」と連携した空き家の掘り起こしを強化するとともに、空き家の改修や家財道具の処分の支援に加えて、遊休施設の有効活用を図ってまいります。

その他、移住促進PR動画やホームページなどで地域の生き生きとした姿を発信するとともに、大都市圏で開催される移住フェアや離島の祭典「アイランダー」へ住民の皆さまと共に参加し本市の魅力をPRするなど、本市が移住先として選ばれる情

報発信に取り組んでまいります。

さらに、生活体験やホームステイなどを取り入れた体験型教育旅行の受け入れなど、地域や体験施設、ホームステイを受け入れる住民の皆さまで組織された「周南学びの旅推進協議会」と連携して取り組み、都市と農山漁村の交流の拡大を図っていくことで、中山間地域の活性化に向けた取り組みを推進してまいります。

将来に向けた 行財政経営プロジェクト

「共に。」 未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。

最後にフツ目は「将来に向けた行財政経営プロジェクト」でございます。

「ヒト・モノ・カネ」という限られた資源を有効に活用して、将来にわたり持続可能なまちづくりを進めていくため、引き続き「選択と集中」による行財政経営を『前進』させてまいります。

待ったなしの課題である公共施設の老朽化への対応は、新設する施設マネジメント課を中心に、昨年8月に策定しました「周南市公共施設再配置計画」に基づき、長穂地域と和田地域におけるモデル事業をはじめ

め、施設の再配置や長寿命化などにしっかりと取り組んでまいります。

地域の安心・安全の拠点である新南陽総合支所および西消防署の庁舎の老朽化対策は、敷地全体の有効活用を図るために必要な検討を進めてまいります。また、老朽化が進んだ鹿野総合支所は、昨年策定した整備方針に基づき、今後の方向性を定めていくため、住民の皆さまと行政との協働作業によるワークショップをスタートさせます。

内部事務の効率化・省力化も進めてまいります。

市の保有する公文書のより効率的な運用を進め、文書分類や管理保存方法、保存年限を見直すことで、文書の量を削減し、また、公文書をより効果的に活用し、公文書のライフサ

イクルも一層適切に運用できるよう、文書管理の再構築に取り組んでまいります。

県内初となる、自治体クラウドの導入も着実に進めてまいります。住民記録や税、国民健康保険などの基幹業務系システムに係る経費削減に向けて、下松市・光市・柳井市・阿武町と本市の4市1町が共同利用することとし、平成30年度からの稼働に向けて取り組んでまいります。

さらに、市民の皆さまのニーズにしっかりと応えられるよう、組織の強化にも取り組んでまいります。

第2次まちづくり総合計画や戦略に沿ったまちづくりを着実に進めるため、適時適切な組織の改編を行います。

また、職員力の強化に向けて、効果的な人材育成のための新たな方針を

策定し、職員の士気や能力の向上を図るほか、市民の皆さまと共にまちづくりを進めていくことのできる職員を育成してまいります。

以上が、まちづくり総合計画の主要プロジェクトに関する事業の説明でございます。

その他の主要施策

続きまして、その他の主要施策について、ご説明いたします。

●教育

まず「教育」に関する取り組みでございます。

次代を担う子供たちの能力を最大限に引き出すための教育環境を整備してまいります。

学校ICT環境を充実させていくために、新年度では、小・中学校各2校をモデル校に指定し、授業での有効活用のための教員研修や校内無線LANの整備を実施することも、タブレット型情報端末の段階的導入を進め、教育の情報化に対応した教育環境の整備を図ってまいります。

また、進学を控えた中学生が学習に集中できる環境を整えるため、中学校普通教室への空調設備の整備に着手いたします。

中山間地域起業等促進事業



旧翔北中学校を利用した事業者を支援

予算額 1,555万円

空き家などを活用した起業促進や、県との連携によるサテライトオフィスの誘致など、移住に必要な仕事づくりを進めます。

主な内容

○中山間地域起業等促進事業補助金

財源内訳

県の負担金 177万円
市の負担額 1,378万円

問合せ

地域づくり推進課
☎0834-34-3572

さらに「ふるさと周南」に誇りと愛着を持つことのできる教育を推進するため、コンビニート企業や水素学習室などを活用した地元の産業を知る学習や、文化会館や美術博物館などで本物の芸術に触れる学習など、地域資源を生かした特色ある教育を進め、周南の未来を担う人材の育成に努めてまいります。

その他、老朽化した徳山西・新南陽学校給食センターに代わる「仮称（西部地区学校給食センター）」の整備に取り組んでまいります。新年度は、地質調査や用地造成などに着手するとともに、PFF事業の導入可能性調査を実施いたします。

●文化・スポーツ

次に「文化・スポーツ」に関する取り組みにつきましては、文化会館の屋根防水改修をはじめ、美術博物館などの施設改修を計画的に行い、本市の特色ある文化を発信してまいります。

また、オリンピック出場経験者などで編成されたドリウムチームとの交流事業は「つらつママさんバレーボール」を開催し、「すくすく観る」「支える」のスポーツ人口の拡大を図ります。

さらに8月には、全国高等学校総合体育大会が中国ブロックの各都市

で行われ、そのうちハンドボール競技大会を、本市と下松市・光市の3市共同で開催いたします。開催にあたっては、市民の皆さまのスポーツへの意識高揚とともに、「コンベンションシティ」の推進を図ってまいります。

●福祉・健康

次に「福祉・健康」に関する取り組みにつきましては、昨年4月に設置した「基幹相談支援センター」と共に、大人の発達障害に関する連続講座を新たに開催し、広く学び合う場を設けることで、発達障害に関する理解を促進するとともに、日常の支援に生かせるネットワークを構築してまいります。

また、市民の健康づくりの推進につきましましては、本年度策定中の「周南市健康づくり計画」に基づき、市民の健康長寿をめざし、生活習慣病の予防対策を強化するとともに、地域や企業・事業所と協働し、健康を支援する環境づくり「しゅうなんスマートライフチャレンジ」を推進してまいります。

●環境・生活

次に「環境・生活」に関する取り組みにつきましては、空き家等の対策として、安心・安全な暮らしの実現に

公共施設マネジメント推進事業



予算額 **404万円**

再配置の実施や、予防保全による長寿命化など、公共施設のマネジメントを推進します。

主な内容

- 公共施設再配置モデル事業
- 施設分類別計画の作成

財源内訳

市の負担額 **404万円**

問合せ

施設マネジメント課
☎0834-22-8202

向け、倒壊対策や危険空き家の除却などの対策を市民の皆さまと共に進めてまいります。

野犬対策につきましては、むやみな餌やりに対する監視を強化するとともに、捕獲器の増設や巣穴の撤去を行うなど、保健所と緊密な連携を図りながら、市民の皆さまと共に取り組んでまいります。

水道事業につきましては、安心・安全な水を安定的に供給するため、老朽化した管路や浄水施設の耐震化を計画的に進めるとともに、一の井手浄水場の統合に向け、北山加圧ポンプ所の築造および送水管の布設工事に着手してまいります。

長年の懸案でありました熊毛地区の簡易水道事業につきましては、新年度から団地ごとにいよいよ給水を

開始いたします。また、鹿野地区におきましても、配水管の耐震化など、引き続き安心・安全な水道水の提供に取り組んでまいります。

下水道事業につきましては、災害時においても機能を確保するため管路の老朽化対策を進めるとともに、浄化センターやポンプ場などの施設の長寿命化や耐震化を進めてまいります。

合併処理浄化槽の設置費および維持管理費の助成制度につきましましては引き続き実施し、水環境の保全と快適で衛生的な環境づくりを推進いたします。

なお、維持管理費の助成につきましましては、新たに公共下水道事業計画区域内の未供用区域を対象に加える制度の拡充を図り、施設の適正な維持管理を促進してまいります。

小学校・中学校タブレット導入事業



タブレットを使った授業

予算額 **3,083万円**

タブレット型情報端末の導入を段階的に進め、小・中学校のICT環境を充実します。

主な内容

- タブレット型情報端末の導入
- 校内無線LANの整備

財源内訳

市の負担額 **3,083万円**

問合せ

学校教育課
☎0834-22-8543

次「都市基盤」に関する取り組みについてご紹介します。

●都市基盤

さらに、男女共同参画社会を実現するため、ワーク・ライフ・バランスをテーマとした企業向けセミナーや子育て中の方を対象とした講座を開催し、男女が共に「生き生きと働き、お互いに個性と能力を発揮することができるまちづくりを進めてまいります。

また、人権教育・啓発活動につきましては「市民一人ひとりの人権が尊重されるまち」の実現に向けて、「山口県人権推進指針」「周南市人権行政基本方針」をもとに、人権尊重の視点に立つて、学校、地域社会、企業・職場のあらゆる場を通して推進体制の更なる充実を図ります。

周南緑地につきましては、メインエントランスとなる幹線園路の工事に着手いたします。また、永源山公園につきましても、施設の改修やプール広場のリニューアル工事を行ってまいります。

久米地区および富田地区の土地区画整理事業につきましては、都市計画道路などの公共施設とともに、宅地や商業・業務施設としての土地利用が進んでおり、引き続き早期完成に向け、計画的に事業を推進してまいります。

道路事業では、幹線道路や生活道路の整備を計画的に進めるとともに、古川跨線橋をはじめ、橋りょうの安全性を確保するため「周南市橋梁長寿命化修繕計画」に基づき、点検・修繕・更新を進めてまいります。

●その他

モーターボート競走事業につきましては好調を維持しており、今後、更なる収益の向上を図るため、新規ファンの獲得をめざすとともに、平成29年秋のブランドオープンに向けて、新中央スタンドの建設工事を着実に進めてまいります。

おわりに

昨年、日本中を沸かせたラグビーワールドカップ2015において、優勝候補であった南アフリカ戦の勝利を含む3勝という歴史的な快挙を成し遂げた日本代表。その活躍は、私たちに勇気と感動を与えてくれました。ラグビーの魅力は「多様性」だといわれております。

チームは、小柄な選手や大柄な選手、足の速い選手、背の高い選手などさまざまな15名の選手で構成され、それぞれの個性が生かされるポジションで力を発揮しチームに貢献します。

これは、まちづくりにおいても同じであります。

一人ひとりの市民が、それぞれの活躍の場で持てる力を発揮することで、成果を共有することができます。

また、成果を共有することで、喜びを感じ、自分の居場所を感じること

ができる。

そして、自分の居場所を感じることと、まちへの愛着と誇りを育むことができる。

共に、未来へ贈りたい周南市(まち)をつくる。

次世代に、愛着をつなぐ。誇りをつなぐ。

今を生きる私たちのために。

そして、これから、このまちに生まれてくる子どもたちのために。

皆さん、一緒に動き出しましょう。

私は、周南市のリーダーとして、将来にわたって、だれもが「このまちに生まれてよかった」「このまちに住み続けたい」「このまちでやりたいことを実現したい」と心から思える「ふるさと周南」の実現に向け、皆さまと共に、全力で取り組んでまいります。

議員をはじめ市民の皆さまのご理解、ご協力を重ねてお願い申し上げます。

平成28年2月24日

周南市長 **木村健一郎**

予算の概要

予算編成の基本方針

平成28年度は「第2次まちづくり総合計画」の2年目、また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実質的な初年度に当たり、総合計画の将来の都市像である「人・自然・産業が織りなす 未来につなげる 安心自立都市 周南」の実現に向け、「社会で育む少子化対策プロジェクト」をはじめとする7つのプロジェクトを重点的に進める予算編成に努めました。

予算の特徴

一般会計予算規模は、前年度に比べ8億9900万円、1.4パーセント減の631億4400万円となりました。

歳入は、個人市民税が減となるものの、法人市民税や固定資産税などは増となり、市税全体では若干の増となっています。また、普通交付税では段階的縮減が3年目を迎え、合併優遇措置が5割の減額となります。市債は67億740万円を発行し、このうち合併特例債は9億円、臨時財政対策債は24億円です。

歳出は、庁舎や動物園をはじめと

する主要建設事業や保育給付、中小企業金融対策などが大幅な増となったものの、市営住宅の耐震改修や土地地区画整理事業の進捗^{しんぱく}に加え、平成27年度で小中学校耐震化が完了したことにより、全体では微減となっています。

しかしながら、子どもたちが健やかに明るく成長できる環境づくりや、市民の皆さんが安心して生活できるための「揺るぎない安心安全プロジェクト」に関する事業の推進に最大限配慮しました。

特別会計のポイント

- 国民健康保険は、保険給付費の^⑧などにより、2.4%^⑨
- 国民健康保険鹿野診療所は、院外処方化による医薬材料費の^⑩などにより、35.4%^⑨
- 介護保険は、地域密着型介護サービスや地域包括支援センターなどの充実により、5.4%増

ことばの説明

歳入

- **市税**…個人市民税、法人市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
- **地方交付税**…地方自治体のサービス水準を一定に保つため、国税のうち、所得税、法人税、酒税などの一定割合が国から交付されるもの
- **市債**…施設の建設や道路などの整備のために借り入れる資金(借入金)

歳出

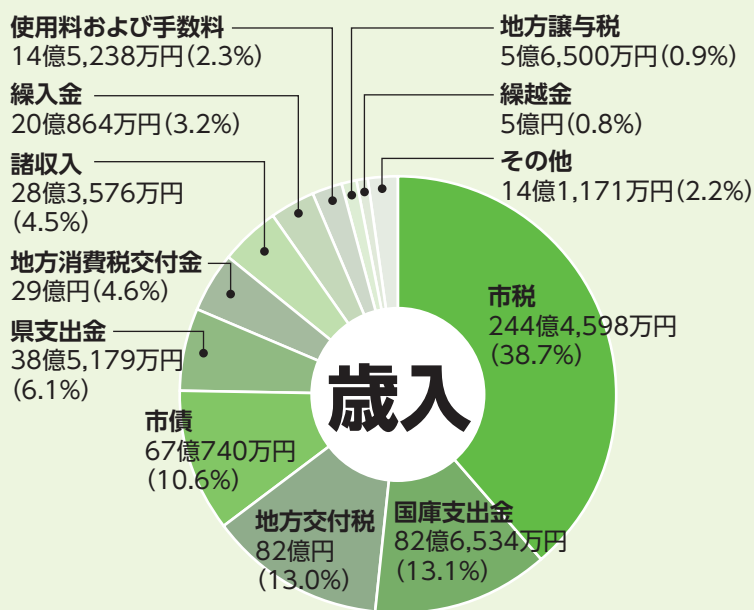
- **総務費**…市の一般的な管理事務や共通的に必要な経費
- **民生費**…子どもや高齢者、障害者福祉などに必要な経費
- **衛生費**…ごみ処理や保健衛生、環境保全などに必要な経費
- **公債費**…市が借り入れた市債(借入金)返済のための経費

■ 会計別予算

区 分	予算額	構成比	増減率
一般会計	631億4,400万円	42.4%	△ 1.4%
特別会計	365億1,373万円	24.5%	0.0%
国民健康保険	197億 70万円	13.2%	△ 2.4%
国民健康保険鹿野診療所	9,119万円	0.1%	△35.4%
後期高齢者医療	21億9,707万円	1.5%	△ 0.3%
介護保険	125億5,219万円	8.4%	5.4%
簡易水道事業	15億4,088万円	1.0%	△ 0.2%
地方卸売市場事業	3億1,469万円	0.2%	△17.1%
国民宿舎	9,670万円	0.1%	△ 8.2%
駐車場事業	2,032万円	0.0%	△22.8%
水道事業会計	49億7,563万円	3.3%	△ 0.5%
下水道事業会計	99億8,753万円	6.7%	1.9%
病院事業会計	35億 995万円	2.4%	△14.7%
介護老人保健施設事業会計	4億2,038万円	0.3%	0.6%
モーターボート競走事業会計	302億6,537万円	20.3%	9.5%
合 計	1,488億1,660万円	100.0%	0.9%

※端数処理の関係上、数値の集計が合計欄と合わない場合があります。

一般会計・歳入歳出予算 631億4,400万円

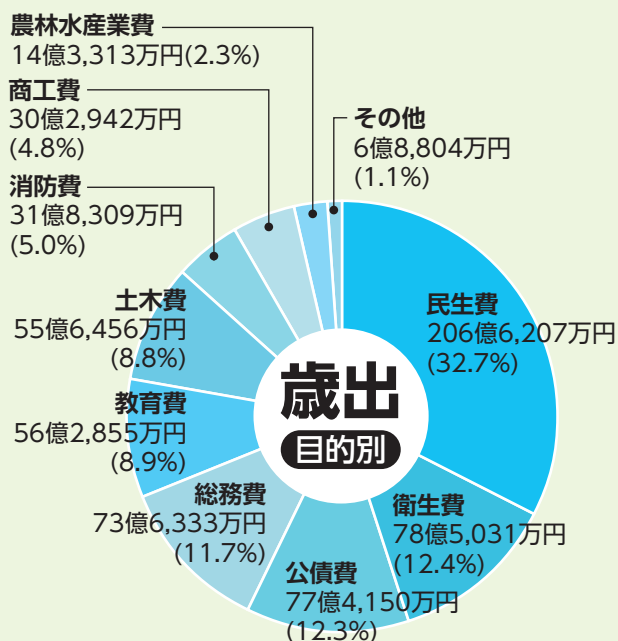


歳入のポイント

- 市税は、個人市民税が減になるものの、法人市民税や固定資産税が増になることから、総額で2.3%増
- 国庫支出金は、学校施設環境改善交付金、社会資本整備総合交付金、臨時福祉給付金給付費補助金などの減額により、7.3%減
- 市債は、小中学校耐震化事業や公民館整備事業の完了、土地区画整理事業などの減額により、総額で5.8%減

歳出のポイント

- 総務費は、庁舎建設事業や市議会議員選挙などの増額により、10.8%増
- 民生費は、保育給付事業や保育所再編整備事業、乳幼児・こども医療費助成事業などの増額により、4.7%増
- 商工費は、動物園リニューアル事業や中小企業金融対策事業などの増額により、79.7%増
- 土木費は、市営住宅耐震改修事業や久米中央・富田西部第一土地区画整理事業、徳山駅周辺整備事業などの減額により、23.3%減
- 消防費は、防災情報収集伝達システム整備事業や救急業務高度化推進事業などの増額により、29.2%増
- 教育費は、小中学校耐震化事業や櫛浜公民館整備事業の完了などにより、36.1%減



※()内は構成比です。

社会で育む少子化対策プロジェクト

婚活・子育て応援事業



予算額 240万円

意識啓発や情報提供、出会いの場の創出など、結婚から子育てまで切れ目のない支援を行います。

主な内容

- 子育て支援活動補助金
- 子育て支援講演会の開催
- 赤ちゃんの駅整備事業補助金

財源内訳

市の負担額 240万円

問合せ 次世代支援課
☎0834-22-8457

地域子育て支援拠点事業



予算額 6,974万円

未就園児のいる家庭に親子の遊び場や交流の場を提供するとともに、育児相談や情報提供など子育てを総合的に支援します。

主な内容

- 子育て支援センターの運営(11か所)
- 出張ひろばの実施

財源内訳

国・県の負担額	4,650万円
市の負担額	2,323万円
その他	1万円

問合せ 次世代支援課
☎0834-22-8457

乳幼児・こども医療費助成事業



予算額 4億3,728万円

就学前児童の医療費無料化に加え、小学6年生までの児童の医療費を助成します。

主な内容

- 乳幼児医療費
- こども医療費

財源内訳

県の負担額	9,179万円
市の負担額	2億5,651万円
その他	8,898万円

問合せ 次世代支援課
☎0834-22-8460

地域型保育給付事業



予算額 1億 185万円

0から2歳児を保育する小規模保育施設と事業所内保育施設に対し、運営費を給付します。

主な内容

- 小規模保育施設 2施設
- 事業所内保育施設 1施設

財源内訳

国・県の負担額	6,753万円
市の負担額	3,432万円

問合せ 保育幼稚園課
☎0834-22-8455

施設型給付事業



予算額 12億2,902万円

施設型給付を受ける施設に対し、運営費を給付します。

主な内容

- 私立幼稚園 1施設
- 私立保育所 9施設
- 認定こども園 2施設

財源内訳

国・県の負担額	5億7,337万円
市の負担額	3億9,120万円
その他	2億6,445万円

問合せ 保育幼稚園課
☎0834-22-8455

保育所再編整備事業



予算額 2億6,182万円

公立保育所から民間事業者への保育の引き継ぎや、保育所整備に対する補助を行います。

主な内容

- 引継保育委託料
- 保育所緊急整備事業補助金
- 保育所再編整備事業費補助金

財源内訳

国の負担額	1億 693万円
市の負担額	1億5,489万円

問合せ 保育幼稚園課
☎0834-22-8455

母子保健指導事業



予算額 1,146万円

乳児家庭の全戸訪問や育児相談・育児学級の開催により、誰もが安心して子どもを産み・育てる環境づくりに努めます。

主な内容

- 乳児家庭全戸訪問
- 妊娠・育児学級、育児相談

財源内訳

国・県の負担額	173万円
市の負担額	970万円
その他	3万円

問合せ 健康づくり推進課
☎0834-22-8553

私立幼稚園就園奨励事業



予算額 2億9,915万円

私立幼稚園児の保護者の経済的負担を軽減します。

主な内容

- 園児保護者補助金
- 就園奨励費補助金

財源内訳

国・県の負担額	5,076万円
市の負担額	2億4,839万円

問合せ 保育幼稚園課
☎0834-22-8455

児童クラブ事業



予算額 2億3,358万円

小学生を対象に、授業終了後や長期休み期間中、余裕教室や児童館などで学童保育を実施します。

主な内容

- 児童クラブの実施

財源内訳

国・県の負担額	1億2,858万円
市負担金	6,428万円
その他	4,072万円

問合せ 次世代支援課
☎0834-22-8457

■ 性質別内訳の状況

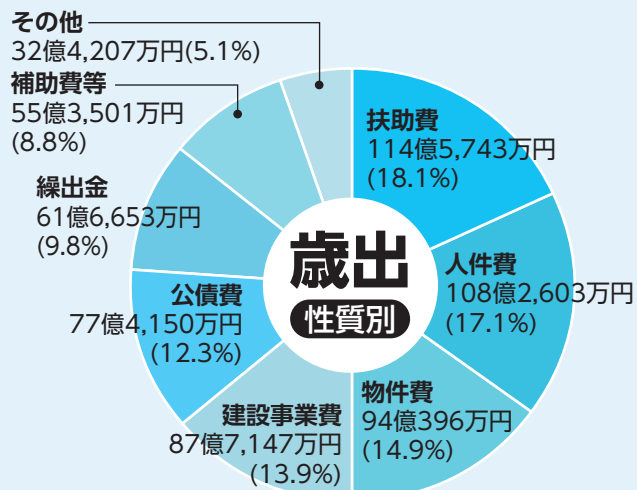
○平成28年度一般会計歳出予算の内訳(性質別)

性質別内訳とは、地方公共団体の経費を、経済的性質を基準として分類したものです。

このうち、人件費、扶助費、公債費は「義務的経費」、普通建設事業費、災害復旧事業費などは「投資的経費」に分類され、その他、物件費、維持補修費、補助費等、積立金、投資及び出資・貸付金、繰出金、予備費に分類されます。

「義務的経費」は、その支出が義務付けられ任意に節減できない経費で、その割合が高くなると自由に使えるお金が少なくなります。

近年、少子高齢化などによる社会保障経費の増大により、扶助費が増加傾向にありますが、市では今後とも、財政の健全化に取り組んでいきます。



※合計に合わせて、端数調整を行っているものがあります。
※ ()内は構成比です。

揺るぎない安心安全プロジェクト

地方消費者行政推進事業



予算額 474万円

消費生活相談員の資質向上とともに、消費者教育や啓発活動を推進します。

主な内容

- 消費生活相談やセミナーの開催
- 消費生活相談員のレベルアップ研修

財源内訳

県の負担額 474万円

問合せ 生活安全課
☎0834-22-8321

自主防災組織育成事業



予算額 312万円

地域防災力を向上するため、自主防災組織の主体的な活動を支援します。

主な内容

- 自主防災組織活動支援補助金
- 自主防災組織育成事業委託

財源内訳

国の負担額 30万円
市の負担額 282万円

問合せ 防災危機管理課
☎0834-22-8208

庁舎建設事業



予算額 11億 674万円

災害時における行政機能の維持と市民の利便性を向上するため、新庁舎を建設します。

主な内容

- 新庁舎建設工事
- 東本館等解体工事
- 駐車場整備工事

財源内訳

市の負担額 9億3,187万円
(うち借入金 9億円)
その他 1億7,487万円

問合せ 庁舎建設課
☎0834-22-8153

河川改良補助事業(隅田川)



予算額 1億 395万円

浸水などの被害を防止するため、隅田川を改修します。

主な内容

- 護岸工 L=35m(左岸)

財源内訳

国の負担額 3,400万円
市の負担額 6,995万円
(うち借入金 6,120万円)

問合せ 河川港湾課
☎0834-61-4419

市営住宅耐震改修事業



予算額 1億5,990万円

旧耐震基準により建設された市営住宅の耐震改修を行います。

主な内容

- 周南第3住宅12棟の耐震改修

財源内訳

国の負担額 5,649万円
市営住宅使用料等 4,701万円
市の負担額 5,640万円
(うち借入金 5,640万円)

問合せ 住宅課
☎0834-22-8334

漁港海岸保全施設整備事業(福川漁港)



予算額 1億8,177万円

波浪や高潮などの被害を未然に防止し、地域住民の安心安全を守るため、高潮対策を行います。

主な内容

- 排水機場建設

財源内訳

国・県の負担額 1億 921万円
市の負担額 7,256万円
(うち借入金 5,470万円)

問合せ 水産課
☎0834-22-8219

少子化対策

安心安全

自立した地域づくり

まちづくり賑わい

産業活力

中山間地域

行財政経営

その他主要

救急業務高度化推進事業



予算額 1億9,762万円

救助車両などの更新整備と救急救命士養成などに取り組みます。

主な内容

- 救助工作車更新
- 高規格救急自動車更新
- 救急救命士・指導救命士養成

財源内訳

県の負担額	3,355万円
市の負担額	1億6,407万円
(うち借入金)	1億4,940万円)

問合せ 消防総務課
☎0834-22-8754

砂防・急傾斜対策事業



予算額 1,325万円

県が実施する砂防・急傾斜対策など土砂災害防止事業費の一部を負担します。

主な内容

- 砂防事業(河原畑川)
- 急傾斜事業(居守・内谷・東金剛山・土井)

財源内訳

市の負担額	1,293万円
(うち借入金)	1,180万円)
その他	32万円

問合せ 河川港湾課
☎0834-61-4419

排水路改良事業



予算額 2,939万円

排水路改良による雨水、排水対策を実施します。

主な内容

- 排水路改良工事
- 排水ポンプ設置工事

財源内訳

市の負担額	2,939万円
(うち借入金)	2,200万円)

問合せ 河川港湾課
☎0834-61-4419

消防機械器具強化充実事業



予算額 1,650万円

複雑多様化する災害に即応するため、消防力の強化・充実を図ります。

主な内容

- 指令・指揮車更新
- 資機材搬送車更新

財源内訳

県の負担金	1,500万円
市の負担額	150万円

問合せ 消防総務課
☎0834-22-8754

消防施設整備事業



予算額 6,204万円

消防団機庫の更新整備などを行います。

主な内容

- (仮称)高水機庫建築工事
- 大道理機庫ホース乾燥塔建築工事
- 須金機庫外壁・屋根等改修工事

財源内訳

市の負担額	6,204万円
(うち借入金)	6,090万円)

問合せ 消防総務課
☎0834-22-8754

消防団機械器具強化充実事業



予算額 3,178万円

老朽化した消防団の車両などを更新整備し、機動力の強化・充実を図ります。

主な内容

- 消防ポンプ自動車更新
- 小型動力ポンプ付積載車更新

財源内訳

県の負担額	1,300万円
市の負担額	1,878万円
(うち借入金)	1,610万円)

問合せ 消防総務課
☎0834-22-8754

自立した地域づくりプロジェクト

老人クラブ助成事業



予算額 **1,515万円**

高齢者の仲間づくりや生きがい活動、生涯スポーツなどを推進するため、老人クラブの活動を支援します。

主な内容

- 老人クラブ活動費補助金

財源内訳

県の負担額 206万円
市の負担額 1,309万円

問合せ

高齢者支援課
☎0834-22-8461

コミュニティ推進事業



予算額 **909万円**

市コミュニティ推進連絡協議会や地区のコミュニティ推進組織の活動を支援します。

主な内容

- コミュニティ活動推進費補助金
- コミュニティふるさとイベント事業費補助金

財源内訳

市の負担額 909万円

問合せ

地域づくり推進課
☎0834-22-8412

自治会関係経費



予算額 **8,194万円**

市自治会連合会や地区自治会の活動を支援します。

主な内容

- 自治会連合会補助金
- 市広報等配布報償金
- 自治会連合会などへの支援

財源内訳

市の負担額 8,192万円
その他 2万円

問合せ

地域づくり推進課
☎0834-22-8412

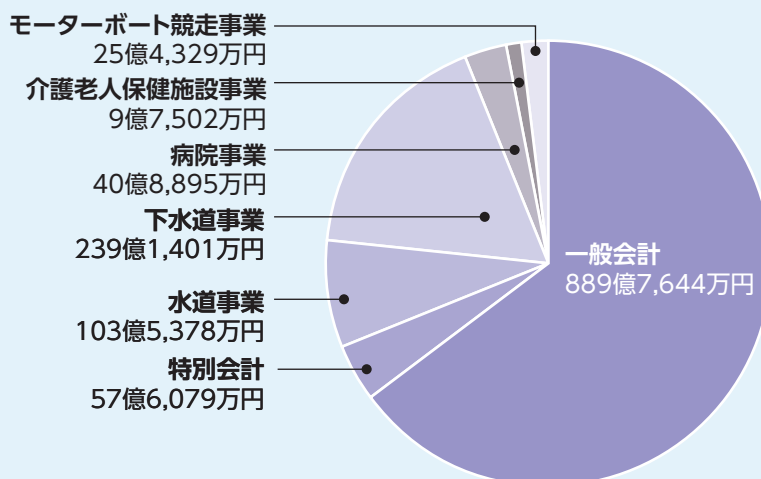
借入金(市債)の状況

○平成28年度末借入金残高見込み(全会計)…1,366億1,228万円

自治体では、その年に使うお金は、同じ年度で得る収入(市税や地方交付税など)で賄わなければならないため、多額の費用を必要とする公共事業は、その年の収入だけでは実施することが困難です。

また、公共事業の効果は長期間に及ぶことから、世代間の負担を均等にすることを目的に、借入れをすることが認められています。

市では、借入れに際し、返済に当たって国からの財政支援のある有利な借入金(合併特例債など)の選択に努めています。



まちじゅう賑わいプロジェクト

観光振興事業



予算額 3,489万円

県やJRなどと連携したキャンペーンや、夜型観光の推進など、観光誘客の取り組みを進めます。

主な内容

- 周南観光コンベンション協会運営費補助金
- ビュースポット看板作成委託

財源内訳

県の負担金	245万円
市の負担額	3,239万円
その他	5万円

問合せ 観光交流課
☎0834-22-8372

シティプロモーション事業



予算額 900万円

市の魅力や取り組みを紹介するPR動画を制作し、戦略的な情報発信を行います。

主な内容

- 基本方針の策定
- PR動画の制作

財源内訳

市の負担額	900万円
-------	-------

問合せ 広報戦略課
☎0834-22-8238

コンビナート電力利活用推進事業



予算額 2,548万円

中心市街地におけるコンビナート電力の利活用に取り組みます。

主な内容

- コンビナート電力利活用構想の策定
- 送電設備の整備

財源内訳

市の負担額	2,548万円
-------	---------

問合せ 中心市街地整備課
☎0834-27-0070

中心市街地商業活性化事業



予算額 1,650万円

空き店舗対策や、市民団体による中心市街地でのイベント支援などにより、さらなる活性化を推進します。

主な内容

- まち輝ぎ活動団体育成事業費補助金
- 中心市街地商業活性化補助金

財源内訳

市の負担額	1,650万円
-------	---------

問合せ 商工振興課
☎0834-22-8373

公共交通ネットワーク形成事業



予算額 1,838万円

持続可能な公共交通ネットワークの形成に向けた検討を行います。

主な内容

- 地域公共交通再編実施計画の策定

財源内訳

市の負担額	29万円
その他	1,809万円

問合せ 都市政策課
☎0834-22-8426

コンベンション推進事業



予算額 643万円

コンベンションの誘致や支援、アフターコンベンションの充実などに取り組みます。

主な内容

- コンベンション開催補助金
- コンベンション配布物作成

財源内訳

市の負担額	643万円
-------	-------

問合せ 観光交流課
☎0834-22-8372

少子化対策

安心安全

自立した地域づくり

まちじゅう賑わい

産業活力

中山間地域

行財政経営

その他主要

まちじゅう賑わいプロジェクト

集約型まちづくり推進事業



予算額 1,122万円

集約型まちづくりに向けた「立地適正化計画」を策定するため、都市機能の集約や居住誘導を図る施策などを検討します。

主な内容

○立地適正化計画の策定

財源内訳

国の負担額	500万円
市の負担額	622万円

問合せ 都市政策課
☎0834-22-8383

動物園リニューアル事業



予算額 8億4,353万円

動物や自然環境の素晴らしさを体感できる動物園をめざし、リニューアルを進めます。

主な内容

○自然学習館建設工事
○新ゾウ舎エリア整地工事

財源内訳

国の負担額	4億 300万円
市の負担額	4億4,053万円
(うち借入金)	3億6,150万円)

問合せ 徳山動物園
☎0834-22-8640

動物園魅力拡大「ズー夢アップ21」実施事業



予算額 1,440万円

周南の里ふれあいゾーン「るんちゃ♪るんちゃ」のオープンに合わせ、さらに魅力あふれるソフト事業を実施します。

主な内容

○小動物とのふれあい体験プログラム
○飼育員体験プログラム

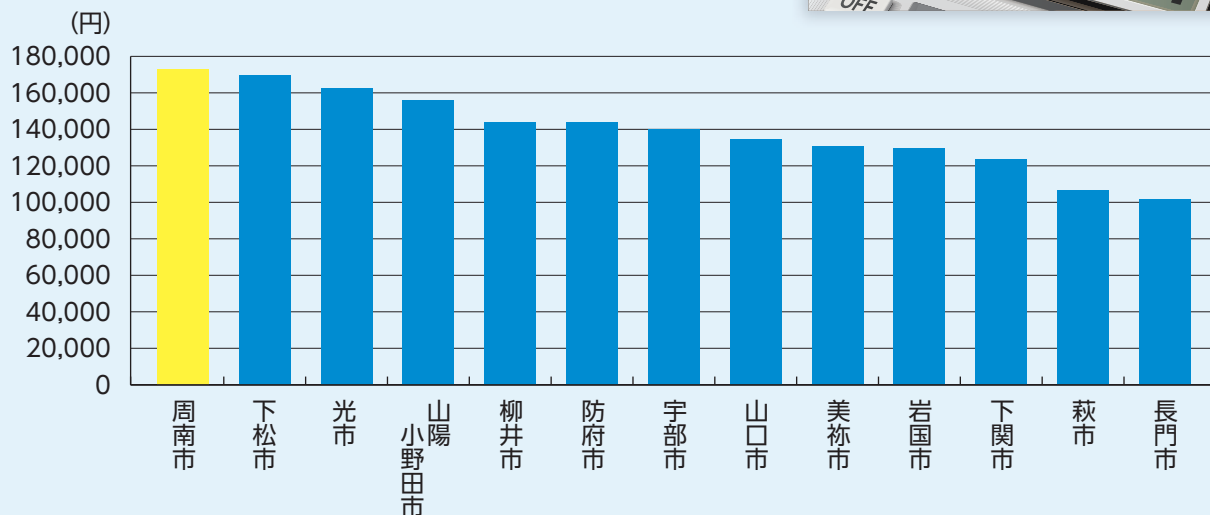
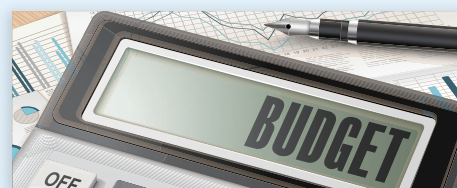
財源内訳

市の負担額	151万円
その他	1,289万円

問合せ 徳山動物園
☎0834-22-8640

■ 人口1人当たりの市税収入(平成26年度決算)

市税は市民税や固定資産税、軽自動車税などで歳入の根幹をなすものです。総人口で割った市民1人当たりの市税収入は17万3,160円で、県内市の第1位です。



産業活力・富の創造プロジェクト

地産地消促進事業



予算額 273万円

安心・安全な地元農産物の供給を支援し、地産地消を推進します。

主な内容

- 地産地消推進店やしゅうなんブランドの認定
- 6次産業化・地産地消推進交付金

財源内訳

市の負担額 273万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8369

企業立地促進事業



予算額 1億5,935万円

事業所の新增設などへの支援により、新たな雇用創出や産業活性化を図ります。

主な内容

- 事業所等設置奨励補助金

財源内訳

市の負担額 1億5,934万円
その他 1万円

問合せ 商工振興課
☎0834-22-8223

中小企業金融対策事業



予算額 9億5,306万円

資金融資や信用保証料の補助などにより、中小企業の経営安定化と事業活性化を促進します。

主な内容

- 保証付制度融資保証料補給費補助金
- 中小企業振興融資制度預託金

財源内訳

市の負担額 5,306万円
その他 9億円

問合せ 商工振興課
☎0834-22-8373

港湾整備県事業負担金・港湾建設県事業負担金



予算額 2億9,714万円

県が実施する徳山下松港(徳山港区・新南陽港区)の港湾整備・港湾建設に負担金を支払います。

主な内容

- 県事業負担金

財源内訳

市の負担額 9,601万円
(うち借入金 4,870万円)
港湾管理協定交付金 2億 113万円

問合せ 河川港湾課
☎0834-61-4419

水産物供給基盤機能保全事業



予算額 1億7,126万円

漁港施設の適正な管理と整備を行うため、長寿命化計画に基づき、保全工事を実施します。

主な内容

- 防波堤保全工事(大津島漁港)
- 長寿命化計画策定(福川・戸田漁港)

財源内訳

国の負担額 1億2,100万円
市の負担額 5,026万円
(うち借入金 2,470万円)

問合せ 水産課
☎0834-22-8219

地域が育む豊かな森林づくり推進事業



予算額 1,169万円

やまぐち森林づくり県民税を活用し、森林公園や観光地周辺の景観を保全します。

主な内容

- 剪定(せんてい)や伐採などによる森林整備

財源内訳

県の負担額 1,169万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8360

少子化対策

安心安全

自立した地域づくり

まちじゅう賑わい

産業活力

中山間地域

行政経営

その他主要

中山間地域振興プロジェクト

ふるさとスローツーリズム推進事業



予算額 130万円

農山漁村での生活体験やホームステイを取り入れた修学旅行などの受け入れを進めます。

主な内容

○周南学びの旅推進協議会への交付金

財源内訳

市の負担額 130万円

問合せ 地域づくり推進課
☎0834-34-3572

中山間地域定住促進事業



予算額 976万円

空き家や市有遊休資産を活用して、中山間地域への移住を促進します。

主な内容

○空き家の掘り起し支援員の設置
○市有遊休資産の活用
○空き家改修支援

財源内訳

市の負担額 976万円

問合せ 地域づくり推進課
☎0834-34-3572

UJターン促進事業



予算額 177万円

都市圏域で開催される移住促進イベントで、市の魅力紹介や移住相談などを実施します。

主な内容

○移住促進イベントでの情報発信や相談受け付け

財源内訳

市の負担額 177万円

問合せ 地域づくり推進課
☎0834-34-3572

新規就農者定着支援事業



予算額 3,480万円

新規就農者や集落営農法人などに対する補助により、新たな担い手の確保と定着を図ります。

主な内容

○新規就農者への給付金
○先進指導農家への補助

財源内訳

県の負担金 2,820万円
市の負担額 474万円
その他 186万円

問合せ 農林課
☎0834-22-8356

離島航路対策事業



予算額 1億 957万円

離島航路の安定維持と利用促進を図るため、大津島巡航株式会社の運営費を補助します。

主な内容

○離島航路運営費の補助

財源内訳

県の負担額 6,608万円
市の負担額 4,349万円

問合せ 都市政策課
☎0834-22-8426

生活交通活性化事業



予算額 1,918万円

中山間地域などにおける移動手段の確保とともに、公共交通機関の利用促進に取り組みます。

主な内容

○コミュニティ交通運行委託

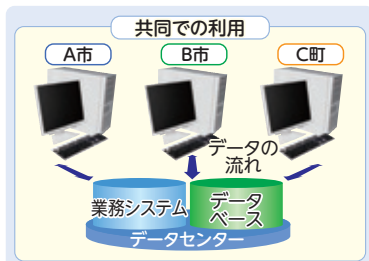
財源内訳

国の負担額 56万円
市の負担額 1,849万円
(うち借入金 1,000万円)
その他 13万円

問合せ 都市政策課
☎0834-22-8426

将来に向けた行財政経営プロジェクト

電子計算組織管理費 (自治体クラウド導入)



予算額 945万円

他市町と共同で自治体クラウドを導入し、情報システム関連経費の削減や事務効率化を図ります。

主な内容

- 情報システム共同利用導入支援業務委託
- 基幹業務系システムの再構築

財源内訳

市の負担額	189万円
その他	756万円

問合せ 情報管理課
☎0834-22-8236

職員研修事業



予算額 1,532万円

職員の資質向上と、組織の活性化を図る研修を実施します。

主な内容

- 人材育成に向けた研修
- 専門研修機関などへの派遣

財源内訳

市の負担額	1,363万円
その他	169万円

問合せ 人事課
☎0834-22-8253

総合支所整備検討事業 (新南陽・鹿野)



予算額 910万円

市民の暮らしを身近に支える地域の拠点として、新南陽および鹿野総合支所などの整備の方向性を検討します。

主な内容

- 敷地測量業務委託(新南陽)
- ワークショップ開催(鹿野)

財源内訳

市の負担額	910万円
-------	-------

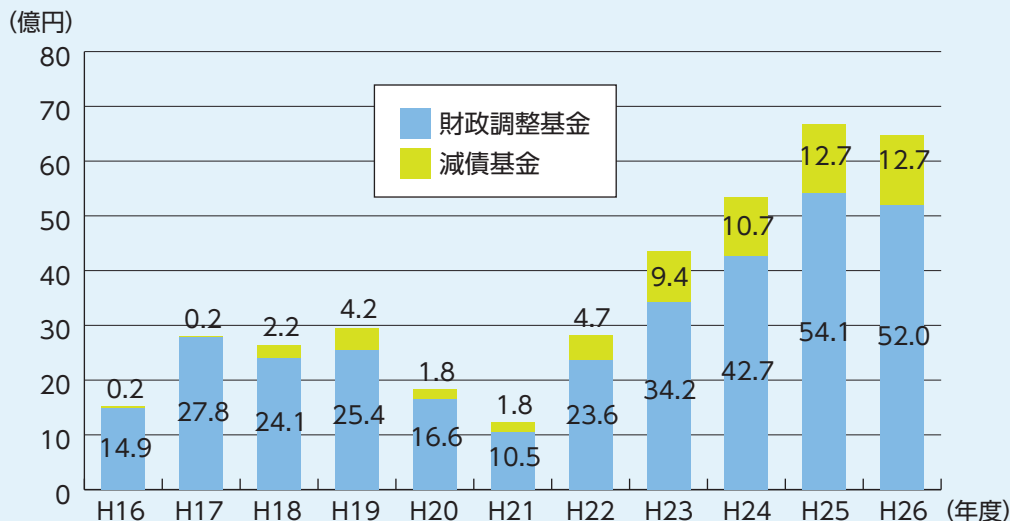
問合せ 新南陽・地域政策課 ☎0834-61-4216
鹿野・地域政策課 ☎0834-68-2331

基金(貯金)の推移(決算)

市の基金のうち、自由に取り崩しができる基金は、財政調整基金と減債基金です。

市では、将来の安定的な財政運営を堅持するため、平成21年度以降、毎年度着実に積み立ててきました。

- 財政調整基金は、年度間の財源調整を図るためのものです。
- 減債基金は、将来の公債費の支払いに備えるためのものです。
- これらの基金は、用途の特定されない一般財源の調整のために、取り崩しができます。



小中学校改修事業



予算額 4億 797万円

児童、生徒が安心して快適に学べる教育環境を確保します。

主な内容

- 大規模改修工事
- 非構造部耐震改修の基本・実施設計

財源内訳

市の負担額 4億 797万円
 (うち借入金 2億8,370万円)

問合せ 教育政策課
 ☎0834-22-8532

(仮称) 西部地区学校給食センター建設事業



予算額 1億5,618万円

老朽化した徳山西および新南陽学校給食センターを統合し、新たな給食センターを整備します。

主な内容

- 測量・造成設計、地質調査
- 用地造成工事

財源内訳

市の負担額 1億5,618万円
 (うち借入金 1億1,010万円)

問合せ 学校給食課
 ☎0834-22-8418

その他の主要施策

中学校普通教室空調設備整備事業



予算額 1,030万円

普通教室に空調設備を設置し、安心して快適に学べる教育環境を確保します。

主な内容

- 基本計画

財源内訳

市の負担額 1,030万円

問合せ 教育政策課
 ☎0834-22-8532

成人保健指導事業



予算額 314万円

健康の保持・増進を図るために、しゅうなんスマートライフチャレンジを実施します。

主な内容

- チャレンジウォーキングなどの実施

財源内訳

県の負担額 109万円
 市の負担額 204万円
 その他 1万円

問合せ 健康づくり推進課
 ☎0834-22-8553

全国高校総体開催事業



予算額 460万円

全国高校総体ハンドボール競技大会を、8月に開催します。

主な内容

- 実行委員会への交付金

財源内訳

市の負担額 460万円

問合せ 文化スポーツ課
 ☎0834-28-2822

文化・スポーツ施設整備事業



予算額 1億2,440万円

文化・スポーツ施設の改修を、計画的に進めます。

主な内容

- 文化会館屋根防水改修工事○美術博物館展示壁面改修工事○柔道畳更新

財源内訳

県の負担額 854万円
 市の負担額 1億 936万円
 (うち借入金 4,900万円)
 その他 650万円

問合せ 文化スポーツ課
 ☎0834-22-8622

少子化対策

安心安全

自立した地域づくり

まちじゅう賑わい

産業活力

中山間地域

行政経営

その他主要

古川跨線橋整備事業



予算額 2,579万円

架設から50年が経過し、老朽化が著しいため、架け替えを行います。

主な内容

○調査設計委託

財源内訳

国の負担額	1,100万円
市の負担額	1,479万円
(うち借入金)	810万円)

問合せ 道路課
☎0834-61-4416

狂犬病予防事業



予算額 577万円

狂犬病の発生を防ぐとともに、野犬対策を行います。

主な内容

○狂犬病予防注射
○野犬給餌/パトロール

財源内訳

市の負担額	136万円
その他	441万円

問合せ 環境政策課
☎0834-22-8322

合併処理浄化槽整備推進事業



予算額 4,367万円

設置費や管理経費の一部を助成し、快適な生活環境の確保に努めます。

主な内容

○合併浄化槽設置費補助金
○浄化槽適正管理推進補助金

財源内訳

国の負担額	592万円
市の負担額	3,775万円
(うち借入金)	870万円)

問合せ 環境政策課
☎0834-22-8324

永源山公園整備事業



予算額 8,950万円

安心・安全に利用できる公園機能を維持するため、改修工事などを行います。

主な内容

○プール広場リニューアル工事
○ゆめ風車長寿命化工事

財源内訳

国の負担額	3,900万円
市の負担額	5,050万円
(うち借入金)	3,510万円)

問合せ 公園花とみどり課
☎0834-22-8446

土地区画整理事業



予算額 5億7,715万円

街路築造や宅地整地工事を行い、快適で良好な市街地を形成します。

主な内容

○久米中央地区
○富田西部第一地区

財源内訳

国の負担額	5,775万円
市の負担額	5億1,940万円
(うち借入金)	4億2,190万円)

問合せ 区画整理課☎0834-22-8439
新南陽分室☎0834-61-4309

道路ストック点検整備事業



予算額 6,000万円

計画的な点検・更新により、安心安全な道路環境の提供に努めます。

主な内容

○道路照明灯建替工事
○路面性状調査
○路面下空洞調査

財源内訳

国の負担額	3,300万円
市の負担額	2,700万円
(うち借入金)	810万円)

問合せ 道路課
☎0834-61-4414

平成28年度はこう変わります。

ピックアップ1

「子育てするなら周南市」

子育て支援、教育環境を充実します！

- 子育て世代包括支援センターの開設
徳山保健センター内に開設し、妊娠・出産、子育てに関するワンストップ相談による、切れ目のない支援を行います。
- こども医療費の拡充
これまでの就学前全児童の医療費無料化に対する助成を、さらに小学6年生まで拡充します。(※小学生は所得制限があります。)
- 保育所・児童クラブの充実
働く親の子育て支援策として、増加・多様化する保育ニーズに対応した保育所整備を進めます。また、小学6年生までに拡充された児童の入会に対応した、児童クラブの環境整備を行います。
- 小・中学校ICT環境の充実
タブレット型情報端末を段階的に導入し、情報通信技術(ICT)を活用した教育の質の向上を進めます。
- 中学校普通教室空調設備の整備
安心して快適に学べる教育環境確保のため、中学校の普通教室に空調設備を設置します。

さらに充実!
周南市子育て
応援サイト&アプリ
「はぴはぐ」です!



妊娠・出産・子育て関連情報がいっぱい
のサイトは「はぴはぐ」で検索できます。
QRコードからアプリをダウンロードして登録
すると、お得な情報があなたのスマホに届
きます♪



iPhone用



Android端末用

ピックアップ2

「安心・安全を守る周南市」

庁舎建設事業がいよいよ本格化します！

- 庁舎建設事業
災害時における行政機能の維持と市民の利便性の向上を図るため「安心とつながりのまちづくり拠点」となる新庁舎を建設します。
- 防災情報収集伝達システム整備事業
庁舎建設事業に合わせ、災害時の防災情報収集伝達システムの整備に着手します。



東本館などの解体は7月末までの予定です。

ピックアップ3

「まちじゅうが賑わう周南市」

動物園がさらに魅力的になります！

- 動物園魅力拡大「ズー^ムアップ21」実施事業
3月にオープンした周南の里ふれあいゾーン「るんちゃ♪るんちゃ」では、雨天でも屋内で動物たちと触れ合うことができます。
- 動物園リニューアル事業
平成29年春のオープンをめざし、自然学習館、野鳥観察所の建設工事を行います。

市内在住の小・中・高
校生は無料です。
みんなで徳山動物園
に行ってみよう!

